

平成30年度 石巻地区中学校新人大会（サッカー競技）実施要項(抜粋)

- 1 目 的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツの精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成するとともに、石巻地区の中学校生徒相互の親睦を図るものである。
- 2 主 催 石巻地区中学校体育連盟
- 3 共 催 石巻市教育委員会 女川町教育委員会 東松島市教育委員会
- 4 後 援 石巻サッカー協会
- 5 期 日 1日目 平成30年9月22日（土） 予選リーグ（9試合）、開会式
2日目 平成30年9月23日（日） 決勝トーナメント（6試合）、閉会式
予備日 平成30年9月25日（火）
平成30年9月26日（水）
- 6 会 場 石巻市総合運動公園
フットボール場・ふれあいグラウンド・フットボールフィールド
- 7 大会役員
部 会 長 伊藤 雄 （住吉中校長） 競技役員 須田 貴子 （河南東中）
副部会長 梶原 昭彦 （蛇田中教頭） 和泉 浩 （青葉中）
副部会長 色川 洋二（矢本二中教頭） 相澤 幸恵 （蛇田中）
委 員 長 谷口 正樹 （矢本一中） 阿部 駿 （矢本二中）
副委員長 新妻 景也 （蛇田中） 猪又 拓也 （矢本二中）
審 判 長 高橋 哲哉 （渡波中） 久保 繁 （矢本一中）
会 計 狩野 晃 （住吉中） 曾根田 啓太 （女川中）
記録・表彰 山崎 健太 （鳴瀬未来中） 神田 優樹 （女川中）
会 場 熊谷 雄也 （青葉中）
技 術 笹ヶ瀬真樹 （河南東中）
- 8 審 判 員 石巻サッカー協会審判部・各チーム審判員（有資格者）
- 9 競技規則 日本サッカー協会競技規則（最新版）及び中体連サッカー競技規則部内規定による。

10 大会規則

(1) 競技方法

① 対戦方式

- 1日目は出場9チームが3ブロック（a～c）に分かれて「予選リーグ」を行い、決勝トーナメントに進出する上位8チームを決定する。
- 各ブロックで「総当たり戦」を行い、代表2チームを決定する。
- 各ブロック最下位のチームの中から、得失点差（総得点－総失点）により2チームを選出する。
- 2日目は予選リーグを勝ち抜いた代表8チームが2つのブロック（A と B）に分かれ、それぞれ決勝トーナメントを行う。各ブロックの優勝チームが県大会出場権を得る。
- 今大会はフリー抽選で行う。

② 試合時間

- 全ての試合を50分間（25分ハーフ、インターバル5分）で行う。
- 予選リーグにおいて勝敗が決しない場合は、引き分けとする。
- 決勝トーナメントにおいて勝敗が決しない場合は、PK戦によって勝敗を決する。

③ 予選ブロック代表及び、追加代表チームの決め方

予選ブロック代表の決め方

- 「勝ち点（勝ち＝3，引き分け＝1，負け＝0）」によって決める。
- 勝ち点と同じ場合は「直接対決の結果」で決める。
- 直接対決が引き分けの場合は「得失点差」で決める。
- それでも決しない場合は「総得点」で決める。
- それでも決しない場合は「フェアプレーポイント」で決める。イエローカードは－1，イエローカード2枚での退場は－3，一発レッドカードは－4として計算。
- それでも決しない場合は「サドンデスPK方式」で決める。
- 3チームが同率になった場合は、「サドンデスPK方式」による「総当たり戦」を1回行う。
- それでも決しない場合は「抽選」とする。

追加代表チームの決め方

- 「得失点差」によって決める。
- 得失点差が同じ場合は、「総得点」で決める。
- それでも決しない場合は「フェアプレーポイント」で決める。
- それでも決しない場合は「サドンデスPK方式」で決める。
- 3チームが同率になった場合は、「サドンデスPK方式」による「総当たり戦」を1回行う。
- それでも決しない場合は「抽選」とする。

④ メンバー用紙

- 各チームは競技開始20分前までに本部に「メンバー用紙」を提出すること。

⑤ 選手交替

- メンバー用紙に登録された選手7名の再交替を認める。
- 試合前にユニフォームのチェックを受けた交代要員は、交代する旨を本部に申し出ること

⑥ 退場・警告

- 本大会において「退場」を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。
- 本大会において2度「警告」を受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- 決勝戦において「退場」を命じられた選手は、今大会以降、公式戦の初戦に出場できない。
- 退場については、専門部規律委員会でその後の対応を検討する。
- 所属チームの最終試合において、その大会中「2度目の警告を受けた選手」と「退場を命じられた選手」は、次の大会の所属チームの初戦1試合に出場できない。

⑦ 競技中の給水

- 水のみとする。ボトルの設置箇所は、副審の邪魔にならないタッチライン及びゴールライン沿い（ラインから1m程度離す）とする。

⑧ 飲水タイム

- 大会本部が必要と認めた場合には「飲水タイム」を設ける。

⑨ 使用球・服装など

- 日本サッカー協会検定5号ボールを使用する。
- ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング：以後ユニフォームという）は原則として、日本サッカー協会ユニフォーム規定に従うものとする。
- ユニフォーム（シャツ）にはチーム名を入れる。
- ユニフォームの番号は選手登録書に記載された選手固有の番号（1～99番）とする。
- ユニフォームは、正の他に副として正と異なる色のユニフォームを必ず用意すること。
- ゴールキーパーは、他のプレーヤーと色別すること。
- 金属類、眼鏡（安全なスポーツグラスは除く）、ギブス、装身具（ミサンガ、ネックレス、ヘアバンド（女子の髪留めは除く））等を身に付けての出場は認めない。
- 中学生らしくない髪型（染色、剃り、パーマ、異常なかりあげ等）の選手の出場は認めない。
- 縞模様のユニフォームの番号は識別が困難な場合は台布の上につけること。
- アンダーシャツとインナーパッツ（サーマルショーツ）は、それぞれシャツやショーツと同色のものとする。
- シャツの裾をパンツから出すことはルール違反ではなくなったが、教育的観点から、ユニフォームをきちんと着るように各チームで指導すること。
- ソックスに巻くテーピングは、ソックスと同色のものとする。
- 審判との区別を明確にするため、黒や紺のユニフォームは使用しないこと。
- 各チームのユニフォーム（4着）は、類似色とならないように留意すること。

(2) 登録人員

- 監督（学校長・教職員）1名，コーチ（外部コーチ・教職員）1名，役員（教職員）1名，選手18名の，計21名以内とする。
- チームは原則として単独校でのチーム編成とするが，宮城県中学校体育連盟「複数校合同チーム参加規程」により，合同チームでのチーム編成を認める。
- 登録人員の変更は，各チームの大会初戦の開始20分前までに行い，それ以降については認めない。第1試合の「メンバー提出用紙」に記載されたもので最終登録人員とする。

(3) 表彰

- 優勝以下第2位までのチーム・選手に賞状を授与する。
- 優勝チームには優勝杯（次年度まで保持）を授与する。

(4) 県大会出場枠 2チーム

- 県大会の詳細については，後日，宮城県中体連 HP に掲載予定。

(5) 申し込み方法

- 「選手登録書（申込書）」と「外部コーチ任命承認願い（必要なチームのみ）」（どちらも職印あり）を，大会初日の顧問会の際に提出すること。

(6) その他の申し合わせ事項

- 新人大会においてベスト4（A・Bブロック2位まで）に入ったチームには春季大会のシード権を与える。（シード権は放棄できない。）
Aブロック優勝：aブロック Bブロック優勝：bブロック
Aブロック準優勝，Bブロック準優勝の2チームのうち，抽選で1チームをcブロックに入れる。抽選で敗れた1チームはフリー抽選とする。
- サッカー競技規則第3条より，選手は7名以上で参加申し込みを行うこと。
サッカー競技規則 第3条 競技者の数
「試合は，11人以下の競技者からなる2つのチームによって行われる。各チームの競技者のうちの1人はゴールキーパーである。いずれかのチームが7人未満の場合，試合は開始されない。」
- 公式戦における最終試合で退場を命じられた選手と2度目の警告を受けた選手は，本大会の初戦に出場することができない。
- 大会初日は，ピッチ内アップを禁止する。ただし，キーパーについてはその限りではない。
※ ピッチ外でのアップの際には，スパイクは履かずに行わせる。
- 2日目は，ゴール裏のスペースの隅の方でボールを使ったアップを認める。その際，試合の妨げにならないよう，ユニフォームでのアップは禁止する。
- 試合終了後すぐに次の試合のメンバーチェックを行い，その後試合開始5分前までピッチ内

アップを認める。

- ベンチは、本部からフィールドに向かって左側を番号の若いチームのものとする。
- ベンチには「登録人員」以外は入ることができない。
- 選手宣誓は抽選No.1のチームの選手が行う。
- 前年度優勝チーム（A ブロック矢本二中 B ブロック蛇田中）は開会式にて優勝杯を返還すること。
- 1日目は 7:30 から、2日目は 8:00 から大会本部にて顧問会を行う。
- 会場準備は第2試合に当たっているチームが行い（1日目 7:00、2日目7:30）、後片付けは最終試合に当たっているチームが行う。
- 1日目において追加代表校の決定は第6試合終了後（16:00）とし、状況によってはPK戦を実施することも考えられる。該当の可能性のあるチームの選手・監督は帰らないようにすること。
- 顧問はチームの勝敗にかかわらず、学校事情が許す限り2日間ともに大会の運営に当たる。
- 競技中のホイッスル及び拡声器での応援は認めない。
- 登録人員以外の生徒（応援団も含む）や保護者等の応援は、ベンチの反対側のサイドで行うこととする。審判団から応援場所等について指示が出た際は役員が中心となり早急に対応する。
- 選手以外はみだりに競技場に入らないこと。
- ゴミは必ず持ち帰ること。
- 本大会中、いずれの場合においても、規定人数（サッカー競技規則 第3条 競技者の数）に満たない場合、試合は行われず、予選リーグにおいては相手チームへ無条件に勝ち点3が付与される。なお、試合開始後に規定人数（サッカー競技規則 第3条 競技者の数）に満たなくなった場合、そこまでのスコアとは関係なく、相手チームに3点の得点が付与され、自チームは0点となる。また、以降の試合においても上記の場合、同様の扱いとなり、予選ブロック代表権については以降のチームへ繰上げされ、2日目へは進出できない。